

立命館グローバル・イノベーション研究機構
「からだ活性化総合科学技術研究拠点」シンポジウム

工学、薬学、生理学の融合が生み出す 「からだを活性化する」新技術

2017 | 9 | 25 | mon

13:00-16:50(懇親会 17:00-18:30)

立命館グローバル・イノベーション研究機構「からだ活性化総合科学技術研究拠点」では、人のからだを活性化することを目的に、重要ターゲットとして筋を取り上げ、筋を活性化する科学技術を総合的に展開する研究取り組みを開始しています。寝たきりやロコモーションの問題に直結する筋減弱症の予防の観点から、筋を活性化することは非常に重要なテーマとなっています。我々は既にメタボリックシンドロームの原因と位置づけられる加齢性筋肉減弱症(サルコペニア)の評価・介入方法において多くの成果を発表しています。平成26年度に文部科学省の「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」に「微量筋組織解析のナノ・マイクロバイオ解析を特長とするサルコペニア研究拠点」が採択され、研究活動を本格化させてきました。これらの研究活動において、マイクロ・ナノテクノロジーを用いたバイオチップ開発等、バイオメディカルデバイス研究センターは重要な役割を担ってきています。立命館グローバル・イノベーション研究機構「からだ活性化総合科学技術研究拠点」では、マイクロ・ナノテクノロジー、スポーツ健康科学、薬学が連携し、幹細胞によるからだ活性化の研究活動を推進しています。本シンポジウムでは、これらのコアとなる研究分野から講師をお招きし、最新動向について情報を得る機会の提供を目的とします。

13:00 開会挨拶

研究拠点リーダー 理工学部機械工学科 小西 聡 教授

13:10

MEMS が実現する単細胞・分子レベルでの計測と可視化
東京大学生産技術研究所 藤田 博之 教授

14:25

健康と長寿を支える骨格筋
～骨格筋適応反応の分子生物学的解析が解明する運動の効果～
静岡県立大学食品栄養科学部 三浦 進司 教授

15:40

キメラ抗原受容体 (CAR) 発現 T 細胞を用いたがん免疫療法
大阪大学大学院薬学研究科附属創薬センター
ワクチン免疫制御学プロジェクト 岡田 真貴 教授

17:00

懇親会 ※学部生・院生はご参加いただけません



立命館大学びわこ・くさつキャンパス
ルーム記念館 5階 大会議室

ACCESS

「JR南草津駅」より
近江鉄道バス「立命館大学行き」または
立命館大学経由「飛鳥グリーンヒル行き」
にて約20分

主催 立命館グローバル・イノベーション研究機構「からだ活性化総合科学技術研究拠点」

共催 バイオメディカルデバイス研究センター、バイオメディカルデバイス研究会、

私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「微量筋組織解析のナノ・マイクロバイオ解析を特長とするサルコペニア研究拠点」

後援 創薬科学研究センター、スポーツ健康科学研究センター

参加お申込み

無料

下記URLよりお申込みください。

<http://bit.ly/rgiro0925>

..... 当日のご参加も可能です



< お問い合わせ先 >

立命館大学 BKC リサーチオフィス 昆・荒井・村角

TEL 077-561-2802 MAIL coor-037@st.ritsume.ac.jp